

**第二回 クオリティ製品分科会（東京） 議事録**

**日時：** 2009/12/09（水）15:00~18:00

**会場：** クオリティ（株）本社 6F 会議室

**テーマ：** ソフトウェアライセンス管理について考える  
～QAW/QND で行う理想のライセンス管理とは～

**司会・進行：** クオリティ製品分科会座長  
株式会社シーズ・スリー 情報システムサービスセンター 運用管理ルーム  
マネージャー 岡本 宏明 氏

当分科会の運営方針により、個人/会社名を特定できる発言、および発表者から公開の許可を得られなかった内容は 議事録より削除されています。あらかじめご了承ください。

<第1部>

■ QAW/QND で出来るライセンス管理、ライセンスガードで出来る管理の説明

【質疑応答】

・ QND 導入前は部署ごとにプリインストールでやっていた。QND を入れれば良くなるのでは？と思ったが、逆に把握しきれなくなり悩んでしまっている。

⇒プリインストール版は、PCに紐づいているので筐体が変われば使えない。LicenseGuard でも、プリインストールのフラグが立てられるようになっている。

・ ライセンスガードの管理工数はどれぐらいですか？

⇒自社の LicenseGuard 管理は0.3人月ぐらい。キッティングはお客様向けのセンターを利用している。

<第2部>

■ ディスカッション

・ ライセンスは二重になっても購入している状態である。それにどれぐらいの工数を掛けていくのか？それも判断材料であるかもしれない。AutoCAD や VectorWorks については、ネットワーク上に常にパケットを流してライセンス違反がないようにしている。Adobe 等は動作してしまうが、ライセンスレポートを出してくれという話（監査権行使）もリスクとして出ている。そういう話をしている中で、Adobe 社からの話があった。問題はなかったが、こういうところもリスクである。

・ PC 購入の際に毎回 Office も購入し、それをダウングレードで管理している。ライセンスの紐付けが上手くできていないのが悩みである。

・ 一括購入はしていない。ISMS のソフトウェア管理台帳を作成している。100%の管理は出来ていないと思う。組織ごとにライセンスを把握したいので、組織ごとに管理者を立てライセンスチェックをしている。それを全体で統括して管理をしているような形態です。

・ PC は全てシステム部でインストールを行い配布している。制限ユーザで使用。勝手にインストールさせないようにしているのが対策。そもそもライセンスオーバーしている状態である。ライセンスオーバーのデメリットを上層部に説得できない状態である。意識問題が一番の課題。

・ インストールメディアを一元管理し、勝手にインストールできないようにしている。申請で証跡を残して管理をしている。台帳で付け合せた後は、余剰の確認はある程度管理できている。申請があったタイミングで収集をしている。他、年に 1 回棚卸しをして、前回と変わっているところについて、どうして変わっているのか？と通達をしている。

・ 昨年 MS の訪問を受けた。Office 等 (PRO/STD) の台帳は持っているが、人の異動があった際には、管理は結構大変でした。MS に聞いてみると、セレクトにしてほしい等の話があった。

・ ライセンス管理に対する意識はもともと低くない。キittingをやりパワーユーザにしているので、インストールは出来ない。申請により権限を与えインストールをして、その後インベントリ収集。部門が購入しているものに関しては、管理をしていない状態。

・ 他の皆さんは、ライセンス管理をどのようにしているのか聞きたい。QND が全部入りきれていないものがある。キittingしてしまったようです。(ID の重複問題)

⇒確実に QND が入っている PC 以外はネットワークに繋がせないようにしている。IPScan で Mac を取得し、QND を入れて管理を行っている。なので、QND は全て登録されている。今後の課題は Macintosh である。

・ ID が重複していることも発生していた。完璧に QND は正しいといえていないところがある。

⇒9.5SP1 では VPN の情報も取れるようになりました。Viper の機能を使えば、未知の PC の検知も行えます。バージョンアップをしてみても？

・ 最近 3 社合併し QAW を導入したばかり。全社展開が出来ていない状態である。QAW、Excel、Access の台帳を照らし合わせている。

・ 資産管理は以前はなかった。LAN、WAN 越しのトラフィックが大変だったので、ツールでの管理を 10 年前ぐらいに断念した事がある。現在 AD ログオンスクリプトで QAW を展開し始めている (480 台ぐらい展開中)。

⇒ログオンスクリプトでの展開は良く使われている。ログオン時なので、ウイルスワクチンの更新等、タイミングが重ならない様に工夫は必要。また、Viper も有効だと思う。

⇒別件だが、WSUS でパッチ適用後、再起動するまで QND の SU が効かないことがあった。

・全社的に展開できたところ。同時期に暗号化のソフトも展開した。ライセンス管理はインベントリの情報と、PC 管理台帳の付けあわせを行い、徐々に精度を高めている最中です。ライセンス管理は、フリーソフト等の種類が分からないのが問題点。

・インストール権限は渡していないので、ライセンス管理ではあまり困っていない。QAW 端末は全部に入れているが、廃棄 PC の管理が難しい。インベントリは週に 1 度取っているが、どのタイミングがよいか？  
⇒動作確認日時でもいいかも。クライアント側の時計だとずれている場合もあるが、動作確認の日はクライアント側？サーバ側？

⇒動作確認の日はサーバ側です。（クオリティ）

・QND でやりたいが、現在導入展開をしている最中。700 台/1200 台を入れている。今までは Excel で管理している。使いたい場合は Notes で申請/承認をして証跡を残している。IPScan のようなもの（独自ツール）を使おうと思っている。またはアンチウイルスソフトのサーバと比較して、導入していない PC のチェックを行おうと思っている。

⇒QND は、入りさえすれば信頼性は高い。

⇒MSOffice やウイルスワクチン等の大きなところを管理している。しかし、ゲーム関連ツールは部門任せの状態です。

・QIV で台帳を出す際、表示項目のプロパティの中を「全部非表示」にしておく。イベントリ収集をして、台帳更新をすると、表示項目が勝手に増えるので、増えたのがわかって便利です。そこから逆引きして、何をインストールしたのが分かる。

5,6 年前に Adobe の訪問があった。慌ててチェックして、足りないところは追加購入した。400 台ぐらいなので、メーカーも監査に入りやすいのではないかと思う。

・オートデスクの訪問があり、台帳提出、アクティベーションの提出を求められた。その結果、問題ありとのことで、違約金をかなり払ったという事例がある。

・デジタルフォントもライセンスが必要と聞いたのだが？

⇒モリサワフォントは可能。今後、フォントワークス社が追加になる予定。

⇒ダイナフォントが取ればうれしいですね。

・親会社に 3 年前オートデスクから監査が入った。数千万円の違約金を払ったようだ。購入明細、請求書等の提出を求められた。CAD のライセンスが多様化しているものに対しては、しっかり勉強をして管理をする必要があると思う。社内ガイドラインを作成し、メディアや購入明細、請求書を添えて情報システムへ連絡するようにさせている。

QNDI にはあいまい検索のようなものがあると良い。ホスト名、Mac、IP、部署名 等をあいまい検索できると

嬉しい。オープンライセンスで買ったCDで、どのPCに入れたか？を特定したい。

⇒フリーソフト等で、CDキーを逆引きできる製品もある。暗号化されていても、それを取ってくる事が出来ればよいかもしれない。

・ソフト開発会社のため、月単位でOSやPCが変わり、ライセンス管理に苦労している。管理者権限を与えている。QNDでCDキーが出てきてくれればよい。(QNDやQOH等)F/Wが稼働している場合に情報が取れない場合があり、ADのグループポリシーで例外設定をしている。クライアントの時間が狂う問題も、ADグループポリシーで同期している。

・CDキー等の情報があると嬉しい。

→回答①

・OSやOffice等、同じプロダクトIDが作られるのであればいいのだが

→回答②

・クライアントが少ないので、大体大丈夫だが、MACが上手く取れない。

⇒来年2月リリース予定のQND9.6では、MacのPush実行を予定しております。

・ドメインを構築していないところがある。WGが400台近くある。導入の際にはみなさんどうしていますか？

⇒収集のタスクをグループウェアの回覧でまわしている。ダブルクリックするだけ。終わったら返信してもらうルール。トップダウンでやっている。

#### ■次回の開催について

次回第3回クオリティ製品分科会は、4月開催予定です。

日程が決定しましたらご案内させていただきます。

※ 時間の関係上、分科会内でお答えしきれなかった部分について、回答を作成しました。(クオリティ)

#### ◆回答①

・CDキー等の情報があると嬉しい。

→メーカーから辞書がでないとクオリティとしても対応が難しい。

#### ◆回答②

・OSやOffice等、同じプロダクトIDが作られるのであればいいのだが

→MSのProductID: インストールキー(CDキー)と関連するプロダクトを示すIDであり、同一のインストールキー(CDキー)を利用した場合、同じProductIDとなる。

現在ではアクティベーションが必要とるため、プロダクトID、インストールするマシンのハードウェア構

成情報を掛け合わせた「インストール ID」送信し、これを元にマイクロソフトから「確認キー」を受け取って認証が完了する事となる。(XP 以降) 認証が完了しないと回数制限で起動できなくなる。

現在では OS も Office も同様の制限 (アクティベーション) が必要となっている

OEM 版に関しては既にインストールされているために同一機種 (モデル) であれば、同一の ProductID が割り当てられている。